

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.40, No.3

≡≡≡ 東北大学附属図書館企画展 狩野亨吉生誕150周年記念「狩野文庫の世界」を開催 ≡≡≡

狩野文庫の世界
かのうこうきち
～狩野亨吉と愛蔵書～

日時:平成 27 年 10 月 5 日(月)～11 月 3 日(火)
10:00-17:00 (入場無料)
場所:東北大学附属図書館本館
1 階エントランスホール/多目的室

- プログラム 狩野文庫の世界へようこそ
- 第1部 コレクター狩野亨吉
 - 第2部 狩野文庫の至宝
 - 第3部 亨吉の探求と再発見
 - 第4部 亨吉の愉しみ

秋号

Contents

表紙

東北大学附属図書館企画展
狩野亨吉生誕150周年記念「狩野文庫の世界」を開催

EVENTS

- オープンキャンパス 2015 2

LEARNING

- 電子ブックのススメ(6) 4
歴史好きは国史大辞典WEBを見よう!

TOPICS

- 学生選書企画「本屋へGo! 2015」 5
～「ひとりじっくりタイプ?」それとも
「仲間とわいわいタイプ?」～を実施します!
- 留学生コンシェルジュ・ウィーク2015(夏)を開催 5

SERIES

- 「ゆかりの人々」 6
名誉教授(元農学研究科教授) 國分牧衛
- <つながり>の一冊 6
「自分ということ」 寺川 直樹

Information

- 東北大学附属図書館利用者アンケートを実施 7
- 附属図書館本館1号館に通話ブースを設置 7
- 準貴重図書指定に伴う狩野文庫等の利用変更 8
- 仙台市立第二中学校生が本館、医学分館、 8
農学分館で職場体験

EVENTS

オープンキャンパス 2015

今年度のオープンキャンパスは、7月29日(水) 30日(木)に行われ、全国各地から高校生を中心とする方々が東北大学を訪問し、キャンパスライフを疑似体験しました。附属図書館では、本館、4分館それぞれがキャンパスの特色に合わせたイベントを企画し、全国でも有数規模のオープンキャンパスを盛り上げました。

本館

学内でも最大規模の集客力がある本館には、2日間で約6,500名の訪問がありました。

本館では、図書館オリエンテーリング、留学生との交流コーナー、ビデオ上映、資料展示「漱石in ロンドンーイギリス留学中の夏目漱石ー」を行いました。

高校生の方々は閲覧室を見学したり、留学生コンシェルジュから各国のいろいろな話を聞いたり、時間のある方は図書館オリエンテーリングでスタンプラリーに参加しました。

フレキシブルエリアでは、見学しようとする学部からの、パンフレットや資料を見たり、昼食時にはカフェを利用するなど、多機能図書館の雰囲気をおおいに楽しんでいました。



▶多くの高校生が入館



▶図書館の説明に耳を傾ける高校生



▶留学生コンシェルジュから母国の様子を聞く



▶スタンプラリー達成

医学分館

今年12月に創立百周年を迎える医学分館では、医学分館百周年記念展示「解体新書が生まれた頃ー驚きの近代医学前史ー」と、日頃星陵地区の学生が利用している教科書の展示を行いました。医学分館を訪れた来場者は約1,500名。たくさんの高校生が、医学の発展に尽くしてきた先人の足跡を伺わせる古典資料や、現在の大学の教科書に見入っていました。



▶多くの高校生で賑わう館内



▶百周年記念展示「解体新書が生まれた頃」の観覧風景



▶展示資料等の人気投票の様子と投票者にプレゼントした医学分館オリジナルブックカバー



▶教科書展示の様子



▶熱心に教科書に見入る高校生



北青葉山分館

北青葉山分館では、本学薬学研究科附属薬用植物園協力のもと、「香りにしたしむ〜薬用植物の世界〜」と題した展示を行いました。ミントやバジルなどの実物を多数展示し様々な香りにふれてもらうほか、関連資料も展示しました。約850名が来館し、展示や館内の豊富な資料に興味深く見学する高校生の姿が多く見られました。



▶ 薬用植物の展示



▶ 展示を見学する高校生達

工学分館

工学分館では、オープンキャンパス期間中「写真で見る工学系の歴史」「東北大学工学部出身の著名人」と題し工学部創設期の教室の様子や八木・宇田アンテナの写真のほか、工学部出身の著名人の紹介と著作の展示を行いました。来館者には記念に「はぎのすけ」のクリアファイルを配布し、約1,000名の来館者がありました。



▶ 工学分館を見学



▶ 「写真で見る工学系の歴史」



▶ 館内を自由に見学



▶ はぎのすけクリアファイル



農学分館

農学分館では「雨宮キャンパス 今・昔・そして未来」をテーマとしたミニ展示を行いました。約700名の来館者があり、引越を控えた新キャンパスでの建物イメージなどを熱心に見学していました。



▶ エントランスではイメージキャラがお出迎え



▶ 雨宮キャンパスの様子をパネル展示



▶ 大学生になったらよく借りる本を紹介



▶ マンガでわかる農学関連図書を紹介



電子ブックのススメ(6) 歴史好きは国史大辞典WEBを見よう!

文学部で日本史、日本思想史、国文学などを専攻する皆さんにとって、「国史大辞典」といえば研究上の必須参考図書です。このWEB版があることはご存じですか? レポート、発表、論文の典拠に使えるこの名著が、オンラインで使うことができます。

専門にしている方々以外にも歴史好きの人はきっと数多くいると思います。そんな方もこの国史大辞典WEBを利用すれば、これまで学習してきた日本史以上の知識を得ることができます。今回は歴代征夷大将軍の中から花押の画像を紹介します。こんな画像も見る事ができるのです。かつての天下人の筆跡から何かをぜひ感じ取って下さい!

附属図書館HPからアクセス

足利義輝花押
足利義輝花押
源頼朝花押
源実朝花押
足利尊氏花押
徳川家康花押

花押の画像を見ることができます!

TOPICS

学生選書企画「本屋へGo! 2015」

～『ひとりでじっくりタイプ?』それとも『仲間とわいわいタイプ?』～を実施します!

あなたの選んだ本を図書館の蔵書に加えませんか? 今年も学生選書企画「本屋へGo!」の季節がやってきました。学生選書企画とは、学生が図書館に置いて欲しい本を直接書店から選ぶというものです。昨年もたくさんの学生が参加し、約450冊の本を図書館の蔵書に加えることができました。本の選び方は、直接書店に行って選ぶ方法のほか、今年度はインターネットサイトから選ぶ方法も取り入れました。この企画には、個人、グループどちらでも参加できます。また、選んでいただいた本は、館内に展示予定です。さて、今年はどうな本が加わるでしょうか。皆さんのご参加、お待ちしております。

- 参加方法** | **実施期間** | 10/5(月)～11/30(月)
(参加された方には、附属図書館オリジナルグッズを進呈)
- 参加条件** | **個人** : 学部学生、大学院生
グループ : 川内キャンパスに所在する研究室またはゼミ
東北大学学生会所属団体及び準加盟団体
- 応募方法** | 附属図書館にある参加申込書をメインカウンターへお持ちいただくか、e-mailで附属図書館受入係 (acq@grp.tohoku.ac.jp)宛にお申し込み下さい。
- 選書内容** | 学習用図書や教養図書で、できる限り附属図書館に所蔵のないものを選んで下さい。
- 選書金額** | 1個人当たり5万円まで(冊数制限なし)
1グループあたり10万円まで(冊数制限なし)
- 選書場所** | ジュンク堂書店仙台TR店
図書館が指定する日時から選択して下さい。

※お申し込みいただいた方には、後日詳細をご連絡します。なお、定員になり次第締め切となりますので、お早めにお申し込み下さい。

詳細は、館内のポスター・チラシや図書館のホームページをご覧ください。



▶昨年度の選書

留学生コンシェルジュ・ウィーク2015(夏)を開催

7月29日(水)～31日(金)の3日間、留学生コンシェルジュの企画イベント「留学生コンシェルジュ・ウィーク2015(夏)」を開催しました。

1. オープンキャンパス運動企画「留学生と話してみよう」

オープンキャンパスの2日間には、留学生の母国の文化や経験を話す企画「留学生と話してみよう」を開催しました。初日は、李璿熙(イ ソンヒ)さんによる「高校生のための韓国の衣食住と基礎韓国語」、2日目は、于楽(ウ ラク)さんによる「高校生のための「中国の今」入門：学生生活・サブカルチャー・伝統文化」という企画でした。両日とも伝統衣装や伝統遊戯体験を行ったほか、関連する図書館蔵書も展示し紹介しました。2日間で参加者延べ157人が当企画に足を運びました。



▶韓国語を高校生に教える李璿熙さん



▶唐代の衣装を紹介する于楽さん

2. 第1回グローバルセッション「安くて簡単! おいしい! 家計も安心! 大学生・留学生のための自炊講座」

7月31日(金)には、台湾からの留学生である葉秉杰(ヨウ ヘイケツ)さんに、自分の自炊経験を基にした講演をしていただきました。



▶第1回グローバルセッションの様子

6年間にわたる日本での生活で鍛えた自炊力の話に、集まった約40名の参加者は大いに関心を示していました。

当日は、自炊に役立つ料理関係の図書館蔵書を展示するほか、葉さんの特製レシピ集と仙台のスーパーマーケット地図も配布しました。今後も、留学生を中心としたグローバルセッションを開催していきたいと考えております。ぜひおいで下さい。

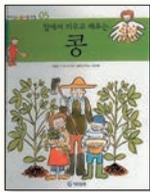
SERIES

「ゆかりの人々」 名誉教授(元農学研究科教授) 國分牧衛

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大ゆかりコレクション」にちなみ、本学の卒業生、教職員など、東北大学にゆかりのある方々の著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ13回目は、本学名誉教授(元農学研究科教授)の國分牧衛先生です。



私は40年近く「大豆」を研究対象にしてきました。テーマは大豆の成長を制御する遺伝・環境要因の探求とその知見を生産技術に応用することでした。研究生生活の残りが少なくなった頃、一般の読者、特に子供達を対象とした本を書きたいとの思いが募りました。以下の3冊はその思いを具体化した3冊です。



**「そだててあそぼう
ダイズの絵本」**
國分牧衛編、上野直大絵、
農文協、1998年刊

子供向けに執筆した最初の本です。この本では、大豆の特徴を、大きく2つの側面

から説明・図解してあります。1つ目は大豆の食べ物としての姿で、豊かな栄養と多様な食品(枝豆、ずんだ、黄粉、豆腐)を取り上げました。2つ目は、大豆の植物としてのユニークな特徴である、葉の運動や根粒の役割を説明しています。また、子供たちが自ら豆腐を作るための手順や、大豆の栽培の基本を説明しています。この本を通じて大豆を身近な植物として好きになってもらえるようお願いしながら書いたものです。幸いにも好評を博し、28回の増刷(2014年まで)を重ね、韓国版(写真右)も出版されました。

「すがたをかえるダイズ - 国語三下」

國分牧衛、光村図書、2007年初版

上記の絵本初版の数年後、ある出版社から国語の教材執筆の



依頼がありました。最初は大豆の植物の特徴を説明した文章を提案してみましたが、出版社の担当者からは、小学校3年生には内容が難しすぎるとの指摘で

した。そこで、大豆の多様な食べ方を説明する内容にしたところ、OKを貰うことができました。大豆の食べ方を、もっとも簡単な方法(粒のまま煮たり炒めたり)から順次難しい方法(成分抽出による豆腐、発酵による味噌・醤油など)を例示しながら説明した内容です。この文をモデルにして、いろいろな作物・食材(米、小麦、牛乳など)の食品としての多様な姿を説明するなど、作文力を養う練習に格好の教材としての評価を頂いています。子供達の国語力に役立っていることは、研究者としては望外の喜びです。教科書は4年ごとに改正しますが、2015年からは3回目の継続掲載になります。初回掲載時に小学生であった子供達が大学に入学する年齢になりますので、この文がその後どのように記憶されているか聞いてみたいものです。



「大豆まるごと図鑑」

國分牧衛監修、金の星社、2014年刊

子供向けに刊行した最後の1冊です。大豆の経歴・特性(歴史、分類、栄養)、加工・料理(豆腐、納豆、みそ、しょうゆなど)、植物としての成長過程・栽培の基本について網羅的に説明したものです。大豆に関して疑問が生じたときにその事項について調べることができる事典として使えるよう項目立てを工夫しました。主に小学生を対象として編集しましたが、一般読者にも役立つ内容を備えています。大豆や食料に対する親しみを深めるのに役立って欲しいと祈っています。

SERIES

〈つながり〉の一冊 『自分ということ』

「自分」とは何か?

教育学研究科 博士後期課程2年 寺川 直樹

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



木村敏「自分ということ」
筑摩書房、2008年
本館 1F 学問新書
ちくま学芸
SC377/0240

「自分探し」。誰もが多かれ少なかれ、青年期を中心に「本当の自分」を求めて思い悩むのではないのでしょうか。「あたりまえ」が「あたりまえ」に「あたりまえ」でなくなってしまうこの世の中において、多くの人が時に自分を疑い、苦悩しながらも、それでも自分を信じようと努め、人生という道を一歩一歩進んでいるのではないのでしょうか。そのようなときに「一つ」の答えを提示してくれるのが、哲学なのかもしれません。しかし多くの人は、哲学を抽象的で難解であると考え、敬遠しがちであることも事実です。

そこで、私が「〈つながり〉の一冊」としてみなさんに紹介したいのが、木村氏の『自分ということ』です。精神医学者である木村氏は、統合失調症の患者とのかかわりの中で「自己」、「あいだ」、「ま」という問題に向きあってきました。詳細については、実際に本書を読んでいただきたいのですが、この書は三部から構成されており、特に前半二部がお勧めです。簡潔明瞭な文章で、上記の問題についてわかりやすく考察を展開していきながらも、その背後には和辻哲郎の「人と人との間柄」(『倫理学』)やハイデガーの思索をはじめ、古今東西の思想が垣間見られます。また語源的説明もなされるなど、広範な知識が集成された本書は、私たちをさらなる読書ならびに思索へと導いてくれる「自分探し」の格好の入門書だと思います。ぜひ本書を手に取り、「本当の自分」を探してみたいはいかがでしょうか。

Information

東北大学附属図書館利用者アンケートを実施

**東北大学附属図書館
利用者アンケート実施**

附属図書館では、図書館をより快適にご利用いただけるよう、利用者アンケートを実施します。回答時間は10分程度です。回答いただいた方には記念品をプレゼント！ ぜひご協力ください。

対象:東北大学の
・教職員
・学生
・聴講生等

回答方法:
図書館からの通知メールに記載されたURLから回答
(附属図書館HP内MyLibraryからも回答可)

回答期間:
2015年10月1日
～
10月31日

記念品:
A賞(10名):8GB USB
B賞(20名):ドリップコーヒー(5杯分)
C賞(全員):クリアファイル

お問い合わせ:東北大学附属図書館総務課
TEL:022-795-5911 MAIL:lib-som@grp.tohoku.ac.jp



附属図書館では、利用者の図書館に対する評価と期待値を調査し、附属図書館にとって今後何が必要かを把握することを目的とし、アンケートを実施しています。調査期間は10月1日(休)から10月31日(土)で、調査後は本館・4分館ごとに評価を集計し、図書館が行う自己点検評価および外部評価活動に活用します。



附属図書館本館1号館に通話ブースを設置

本年7月、附属図書館本館1号館に携帯電話用の通話ブースを設置しました。これまでは、館内に通話できる場所がなかったため、「電話は外でお願いします」と職員が声がけし、利用者のみなさまにも不便をおかけしていました。今後、通話の際はこちらのブースをお使いください。

設置場所は、**エントランス**(1席)、**ラウンジ**(2席)、**メインフロア内の2号館入口付近**(2席)の3カ所です。

利用の際は、緑色の遮音パーティションに向かって通話してください。完全遮音ではありませんので、声の大きさにご注意願います。



Information

準貴重図書指定に伴う狩野文庫等の利用変更

狩野文庫等特別コレクションは、平成27年6月に準貴重図書に指定されました。これに伴い、展示会への貸出を除き、原則として貸出を制限させていただくこととなりました。

ただし、本学教員、本学大学院生の皆様について、特に研究上必要不可欠といった事情がある場合にはカウンターでご相談ください。

また、お手元に貸出中の資料がございましたら、期限内にご返却願います。貴重な資料を確実に、将来にわたり残していくためにご理解、ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。なお、今回、準貴重図書に指定された旧特別コレクションは以下の通りです。



旧特別コレクション (全11資料群)

- ・狩野文庫 (108,000冊)
- ・秋田家史料 (4,337点)
- ・櫛田文庫 (3,130冊)
- ・チーテルマン文庫 (8,280冊)
- ・シュタイン文庫 (6,810冊)
- ・古文書
- ・和算関係資料 (18,335冊)
- ・晩翠文庫 (2,624冊)
- ・ケーベル文庫 (1,999冊)
- ・ゼッケル文庫 (7,380冊)
- ・ヴント文庫 (15,840冊)

仙台市立第二中学校生が本館、医学分館、農学分館で職場体験

昨今、中学生の職場体験が行われ、図書館への職場体験希望が多くなっており、平成27年8月には、仙台市立第二中学校の職場体験が行われ、附属図書館では本館2名、医学分館2名、農学分館3名の中学生を受け入れました。

図書貸出・返却体験のほか、文献複写の受付・依頼等カウンターでのサービス業務のほか、雑誌の配架、資料の整理作業など、普段利用者には見えない仕事にまで取り組みました。

最初に、ネームプレートをつけ、出勤簿に捺印したときは緊張の面持ちでしたが、実際に本を手にとると、興味がわき、目を輝かせて業務に取り組んでいました。仕事の合間には館内を見まわり、休み時間にはキャンパス散策も楽しんでいました。

職場体験を終えた中学生からは、「職員の方々が仕事に愛着を持って働いており、私も自分の苦手な役割を与えられたとしても、最後までやり遂げたい」「体験から感じた職場の皆様の仕事に対する思いを大切に、将来大人にな

って働くときに役立たせていただきたい」といった感想が寄せられました。

今回の体験が、自分の将来を考え、学校での学びの意味を再確認する機会になったとすれば嬉しいことです。



▶文献複写受付業務 複写物発送作業

「電動書架での本の抜き出しはとても大変。でも終わった後の達成感はとても心地よく、二日目からはすばやく終わることができました。」



▶重複資料の抜き出し作業

「図書館には、カウンター業務や配架だけではなく、重複資料の抜き出しや文献複写など、たくさんの仕事があることがわかりました。」



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつぶやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN